



ODA

発行：社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会／編集：北部自立生活センター 希輝々
〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1／頒価100円（会費に含む）
TEL/FAX: 0980-54-1559 e-mail: kirara20030501@yahoo.co.jp



ほくぶじりつせいかつせんたーきらら
北部自立生活センター希輝々

やんばらぁ～ねっと

2025年1月58号



もくじ

やんばらぁ～ねっと 第58号

ぴー P 2	もくじ
ぴー P 3～P 5	真の自己決定を『コロンビアと沖縄で考える シンポジウム』
ぴー P 6～P 8	障害とは何か「宮古島観光を通して考える」
ぴー P 9～P 10	ふーぶーの自立生活PART 3
ぴー P 11	新年の抱負
ぴー P 12	スタッフのひとりごと／希輝々の所在地案内／ 正会員、賛助会員の入会について

謹賀新年

昨年は大変お世話になりました

本年もよろしくお願い致します

令和七年

北部自立生活センター希輝々

代表……新垣 正樹

……他スタッフ一同



真の自己決定を『コロンビアと沖縄で考えるシンポジウム』

新春の候、冬晴れの空に涼やかな風が吹き抜ける季節となりましたが、皆様
いかがお過ごしでしょうか。日頃より、障害者の自立や権利擁護のための活動
にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。、私たちは昨年10
月25日に「真の自己決定を『コロンビアと沖縄で考えるシンポジウム』」を

那覇市のゆいホールにて開催いた
しました。このイベントには、コ
ロンビアから人権活動家で弁護士
のアンデレア・パラさんをお招きし、
後見人制度や意思決定支援につい
て、コロンビアの状況と制度改革の
取り組みについて、「自分のことは
自分で決めるための支援」の大切さを感じ
る時間となりました。

シンポジウム前日24日は伊江島での
フィールドワークを行い「わびあいの里」
で阿波根昌鴻さんの平和思想に触れ、彼
の生き方から「他者を尊重し共に生き
ること」の大切さを学びました。また
伊江島村社会福祉協議会や福祉
関係者の協力を得て、地域の福祉



施策や課題について意見
交換も行い、地域ごとに異
なる状況を改めて実感しま
した。



翌25日の午前中は、国立
療養所愛楽園を訪問。学芸員の鈴木陽子さんから、ハンセン病患者の歴史や
国賠訴訟の勝訴、現在も残る差別、優生保護法の問題について丁寧にお話
を伺いました。愛楽園での学びを通じて、歴史の中で声を奪われてきた人々
の思いを受け止め、自分たちがどのように行動するべきかを考える貴重な
機会となりました。

そして、同日夕方から沖縄県総合福祉センターゆいホールにてシンポジウム
を開催。アンドレアさんが、
コロンビアでの実践を交えながら
「すべての人が自分の意思で生き
る権利」について講演し、池原
弁護士からは日本における成年
後見制度の現状と課題について
お話がありました。



また、長位鈴子さん、なかむらなつみさんが参加されたディスカッションで
は、当事者や支援者の視点から
現場の声や課題が共有されまし
た。参加者からは活発な意見が飛
び交い、「時間がもっとあればよか
った」との声も寄せられるほど、
濃密な時間となりました。



今回のシンポジウムやフィールドワークを通じて、当事者一人一人が自分の
意思を尊重されながら生きるための支援体制がどのようにあるべきか、改め
て考える機会をいただきました。特に、コロンビアの先進的な取り組みを知る
ことで、「その人らしく生きる」ことを支える仕組みの重要性を強く感じました。
また、沖縄とコロンビアは、歴史的な背景に違いはありつつも、平和と共生を
目指してきた思いを共有することができました。このような交流を通じて、障害
のある人もない人も安心して暮らせる社会を目指していきたいと思えます。こ
のプロジェクトの実現には、多くの関係機関や個人の皆様からの温かいご
支援があってこそ成り立ちました。協賛金をご提供くださった皆様や、ご協力
を惜しまずいただいた福祉関係機関、後援団体の皆様には、心より感謝申し
上げます。この場を

お借りして、深いご
理解と多大なるご
支援を賜りました
ことに厚く御礼申し
上げます。

これからも皆様と共
に、住みよい社会
の実現を目指して
活動を続けてまい

ります。季節も変わり冷え込んでいますので、どうぞお体を大切に、健やかに
お過ごしください。

引き続き皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、一人一人
が尊厳を持って生きられる社会の実現を目指し、力を尽くしてまいります。

報告 M.A



障害（バリア）とは何か？宮古島観光を通して考える

11月13日（水）から15日（金）まで2泊3日で宮古島に行って来ました。
今回の目的は、自立生活センターまんたの新里さんから依頼があり、宮古
総合実業高校、生活福祉課の生徒さんが障害のある方の宮古島観光を
計画するので、障害（バリア）とは何かを一緒に考えながら交流して
ほしいとのことでした。

Zoomで事前やり取りを行い宿泊先や移動手段、観光ルートなど全て生徒
が考えました。

色々な観光スポットを巡る中で一番印象的だったのは、宮古馬放牧場
見学でした。凸凹道や急な坂道を移動しながら途中で説明を受ける普通
コースを体験しました。宮古馬の餌やり体験場所に向かう道中にも沢山
の障害（バリア）があることに気づいてもらい、どのような工夫をすれば
良いか一緒に考えることができたのでよかったです。



みやこじま おも で 宮古島の思い出

はくぶつかん
博物館



ゆきしお み ゆー じ あ む
雪塩ミュージアム



みやこじま とお いけ
宮古島 通り池



えんど
17END



避難訓練参加の様子



今回、宮古総業実業高校生活福祉課の学生と関わる中で自分の生い立ち
や自立について話す時間もありました。自分が考える自立とはすべての
ことを一人でできるようになることが自立ではなく、困ったときは周りの
人に頼って乗り越えていくことが自立ということを学生に伝えました。
最後に、宮古総合実業高校生活福祉課のみなさん卒業後もそれぞれの夢
に向かって頑張ってください(*^-^*)
色々と協力してくれた自立生活センターまんだのみなさんもありがと
うございました。

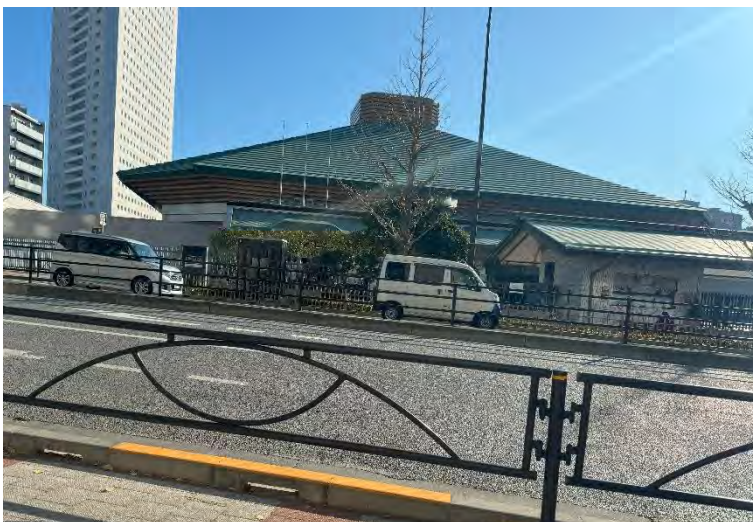
ふーぶーの自立生活PART3

今年の12月28日(土曜)から30日(月曜)まで2泊3日の日程で東京に行ってきました。今回の目的は二つあって、一つは父親と一緒に親子の時間を過ごす、二つ目は女子プロレス団体スターダム(Stardom)の年末のビッグマッチ両国国技館大会を観戦しました。車いす席からの観戦だったので選手同士が対戦している様子が分かりづらいだろうなという不安もありました。

実際に試合が始まると会場の中に大きなモニターがあり、楽しく観戦することができました(*へへ*)

僕が応援していた選手は全員負けてしまいましたが、これからもファンとして応援していきます!

今回は、親子で食事もできたしプロレス観戦もできたのでよい年末を過ごすことができました(*へへ*)





ゆうしょく た ふらん すりょうり
夕食で食べたフランス料理!

おい
美味しかった!



りょうごくこくぎかん か お せんしゅ
両国国技館で買った、推し選手

でざいん すかじゃん
デザインのスカジャン(*へへ*)



はねだくこう どうちゃくご てにもつけんさじょう とお ぼく しゃしん ちちおや と
羽田空港に到着後、手荷物検査場を通るまでの僕の写真を父親が撮って
いたので、載せます(*へへ*)

おや じぶん こども たいせつ あらた き
親は自分の子供のことが大切なんだと改めて気づくことができました。

いつもありがとう(*へへ*)



新年の抱負

スタッフ、利用者共に新しい年の素敵な一歩を踏み出していきましょう!

- ・絆を深め、夢に挑む年にする。M.A
- ・体調に気をつけてプライベートを充実させる。ふーぶ
- ・晩酌の量を少しずつ減らしたいです。M.M
- ・交通安全・家内安全・火の用心。H.N
- ・体調に気をつけて無理をしない。S.K
- ・去年は体調を崩しがちな一年でした。
- ・今年こそ体調管理に気をつけ、当事者、介助スタッフに負担をかけないよう
- ・努める一年にしたいです。S.H
- ・健康で明るく楽しい家庭をつくっていきたい。C.H
- ・ひとつひとつを大切にする。M.T
- ・何かできることを一つ増やしたい。N.K
- ・もりもり食べて丈夫な体をつくりまします。R.T
- ・体調管理をしっかりとやりたい。K.N
- ・健康祈願。もはや神頼み。M.H
- ・のりくらりとマイペースに頑張ります。M.T
- ・体調管理に気をつける。R.H
- ・健康第一。Y.H



2025年 ねん へびどし 巳年

編集後記：すたっふのひとりごと

あたら とし はじ
新しい年が始まりました！

ことし いっぽいっぽ あゆ たいせつ まえむ すす おも
今年も、一步一步の歩みを大切にしながら、前向きに進んでいきたいと思います。

た え 迷 っ た り、挑 戦 に 直 面 し た り す る こ と が あ っ て も、焦 ら ず に、み ん な で
ち っ か ら あ の こ 越 え て い け る い ち ね ん
力を合わせて乗り越えていける一年にしたいです。

で き る こ と に 目 を 向 け、そ の 一 つ 一 つ を 大 切 に し な が ら、自 分 の 可 能 性 を 広 げ て い き ま し ょ う。

そ の 積 み 重 ね が、き っ と 皆 さ ん ら し い 輝 き を 生 み 出 し、大 き な 力 と な る は ず で す。

希 望 を 胸 に 抱 き、そ れ ぞ れ が 目 指 す 理 想 の 暮 ら し を 楽 し み な が ら 実 現 で き る よ う、こ れ か ら も

支 え 合 い な が ら 共 に 歩 ん で い き ま し ょ う。

ほ ん ね ん
本年もどうぞよろしくお願いいたします！ M.Aより



北部自立生活センター 希輝々の所在地案内

〒 905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32(1階)
TEL/FAX 0980-54-1559
E-mail kirara20030501@yahoo.co.jp

C I L 希輝々では、正会員及び賛助会員の積極的な参加を募っています。
当会活動のさらなる行動範囲を広げるためにも、ぜひとも当会の趣旨にご
賛同いただき、ご協力をお願いいたします。

正会員 新規会員 入会金2,000円(入会時のみ) + 年会費3,000円
= 計5,000円

既 会 員 3,000円(年会費のみ)

賛助会員 個人 一口5,000円
団体 大口10,000円

寄付金は随時受け付けております。

皆様の温かいお志とご協力をお願いいたします。

●振込先 沖縄海邦銀行 名護支店 店番 060(普通預金) 0621092

●名 義 北部自立生活センター希輝々

